

11 月在庫
前年 26 万トンを下回る
4 年産古米は 3 割減 36 万トン

農水省は昨年末、水稻うるち米の 11 月末における民間のコメ在庫を全国で合計 304 万トンと発表した。前年同月より 26 万トン（8%）少なく、昨年 9 月以降の傾向（前年比 20 万トン前後減）に戻っている。

11 月末在庫のうち 5 年産は 255 万トンとなっており、前年同月の 4 年産と比べて 8 万トン（3%）減少している。1 年古米の 4 年産は 36 万トンの在庫があるが、前年同月の 3 年産よりも 13 万トン（27%）少ない。4 年産古米は、米穀周年供給・需要拡大支援事業（周年事業）の対象となる先送り販売米穀（後倒し拡充支援 25 万トン）を含むとみられる。このほか年産を特定できない未検査米が 13 万トン（前年同月比 5 万トン=28%減）ある。

全農・道県出荷組合など出荷段階の在庫は 250 万トンとなっており、前年同月より 27 万トン（10%）減少。このうち 5 年産は 221 万トンで、前年同月の 4 年産より 10 万トン（4%）少ない。4 年産古米の在庫は 24 万トン、あるが、前年比で 12 万トン（33%）少ない。未検査米が 5 万トンあるが、前年同月から半減（50%減）している。

一方、コメ卸など販売段階にある在庫は前月と同じ 54 万トンとなっており、前年同月比で 2 万トン（6%）上回る。このうち 5 年産は 34 万トンで、前年同月より 2 万トン（6%）多い。4 年産古米の在庫は 12 万トンで、前年同月を 1 万トン、（8%）下回っている。未検査米が 8 万トンあり、前年同月より 1 万トン（14%）多い。

過去 6 年間の 11 月末民間在庫（出荷段階と販売段階の合計）は、平均で 327 万トンと算出できる。昨年 11 月末の在庫は、これより 23 万トン（7%）下回る水準で推移している。

産地別にみると、5 年産は集荷の積み上げを受け、①新潟産 26 万 6100 トン②北海道産 20 万 6600 トン③秋田産 20 万 9500 トン④山形産 14 万 8600 トン⑤福島産 14 万 6900 トン——など主産地を中心に積み上がっている。

4 年産古米も、①北海道産 3 万 8600 トン②福島産 3 万 2000 トン③宮城産 3 万 0200 トン④山形産 2 万 9300 トン⑤新潟産 2 万 8800 トン——など主産地が主体となっている。